



Avid® Editing Application

ReadMe for Media Composer® v2024.12

重要な情報

新しいソフトウェアをご使用になる前に、この文書を必ずお読みください。

最新の情報が追加される場合があります。[Avid Knowledge Base](#) を常にご確認ください。

この文書には、以前のバージョンとの互換性やインストール方法、ハードウェア・ソフトウェアの稼働要件、システムやメモリに関する情報、ハードウェアやソフトウェアに関する制限についての情報等が書かれています。



Avid は定期的に最新のソフトウェア・アップデートを提供しています。
<https://www.avid.com/media-composer/learn-and-support> からダウンロードしてください。ソフトウェアを最新の状態に保つために、常にこのサイトを確認してください。

目次

記号と表記法について	3
困ったときは.....	3
Media Composer に関する注意	5
SRT に関する注意.....	7
セキュリティーガイドライン	8
Media Composer First	8
Media Composer v2024.12 で修正された不具合	8
既知の問題.....	10
インストールの前に	13
Media Composer Enterprise および Media Composer Distributed Processing.....	13
MediaCentral Production Management 環境へのインストールの前に	13
バッファエラーメッセージ	13
解凍時のエラーについて	13
“Raise Thread Priority”権利.....	14
管理者 (Administrator) としてインストール.....	14
インストールの後に	14
AMA プラグイン.....	14
ソフトウェア・ライセンスについて	14
OS をアップデートする時は	14
RAM 最小要件	14
認証ハードウェアとオペレーティングシステム	14
認証ワークステーションおよびラップトップ	15
機能別稼働要件	15
Avid Artist I/O デバイス互換表	17
システムバージョン互換表	18
オーディオデバイスとの互換について	19
NVIDIA カードのセットアップ.....	19
共有ストレージサポート.....	20

記号と表記法について

この文書では、以下の記号と表記法を使用します。

記号と表記法	意味
	関連する重要な情報、推奨される動作等のコメントです。
	誤った操作をするとシステムを破損したりデータを失ったりする恐れがあります。
	誤った取り扱い方をすると身体的な傷害を負う恐れがあります。電気機器を扱うときは、この文書または機器自身に付属のガイドラインをお読みください。
	システム性能を最大限に引き出すためのヒントを提供します。
	コマンドを実行するためのキーボードまたはマウスのショートカットを示します。
>	メニューコマンド（またはサブコマンド）を示します。例えば「ファイル>インポート」とは、まずファイルメニューを開き、続いてインポートコマンドを選択することを意味します。
▶	単一ステップの手順を示します。この記号が複数あるときは、その中から一つの動作を選んで実行してください。
(Windows), (Windows のみ) (Macintosh), (Macintosh のみ)	Windows または Mac のみに適用される操作や情報を示します。
太字	主にユーザーインターフェース上のアイテムを示します。
<i>斜体</i>	特定の言葉を強調するときや変数を示します
Courier Bold font	キーボードから入力するコマンドを示します
Ctrl+ キー またはマウス	最初のキーを押したまま、次のキーを押すか指定されたマウスアクションを実行します。例えば Command+Option+C 、 Ctrl+ドラッグ 等です。
(パイプ)	MediaCentral Production Management のような Avid の製品名で使用します。この文書では、パイプは項目名、または最初に登場したときに使用します。

困ったときは

Avid 製品を使用中に問題が発生した場合は:

1. ガイドを注意深く読みなおしながら、もう一度操作を実行してください。操作の一つ一つを確実にチェックしてください。
2. ReadMe の新しいアップデートが出ていないか確認してください。最新の ReadMe は Web サイトにアップロードされています。オンラインで ReadMe を確認するには、https://kb.avid.com/articles/en_US/Knowledge/Media-Composer-Documentation、<http://www.avid.com/readme> を確認してください。

3. オンラインサポート <https://www.avid.com/support> をご確認ください。エラーメッセージやトラブル対応、Tips、アップデートのダウンロード等は Knowledge Base をご利用ください。^{困ったときは}

Media Composer に関する注意



Media Composer v2024.12 は macOS Monterey (v12.x) 以前をサポートしません。



現在のところ、Avid NEXIS Client ソフトウェアは macOS Sequoia (v15.x) をサポートしていません。M4 チップを搭載した Mac は macOS Sequoia でのみ動作するため、M4 チップを搭載した Mac では NEXIS クライアントとして Media Composer を稼働させることはできません。



Media Composer v2024.12 以降では、一部のコーデックのサポートが制限されています。SD フォーマットの既存のメディアのほとんどはデコードのみサポートされています。メディアをリンク、コンソリデート、再生することはできますが、エンコードはできません。メディアをこれらの形式にトランスコード、エクスポート、またはインポートすることはできません。以下のコーデックのエンコードは、SD 形式と HD 形式の両方で削除されました。既存のメディアは、引き続きリンク、コンソリデート、再生のみが可能です：

- JFIF (2:1, 3:1, 8:1..といったフォーマット). リンク後 "Motion-JPEG" という名前に変わります
- IMX (MPEG 30, MPEG 40, MPEG 50)
- Avid 1:1 Uncompressed(Avid 1:1, Avid 1:1 10b)
- AVCI High-res proxy (AVCIBP-BLL2.0, AVCIBP-BLL3.0)
- Avid Meridian



Media Composer v2024.12 以降では、一部のコーデックのサポートが制限されています。SD フォーマットの既存のメディアのほとんどはデコードのみサポートされています。メディアをリンク、コンソリデート、再生することはできますが、エンコードはできません。メディアをこれらの形式にトランスコード、エクスポート、またはインポートすることはできません。以下の解像度の DV/DVCPPro コーデックについては、エンコードもサポートされます：

- DV 25 411-720×480i @ 29.97fps
- DV 25 411 - 720×576i @ 25fps
- DV 25 420 - 720×576i @ 25fps
- DV 50 - 720×480i @ 29.97fps
- DV 50 - 720×576i @25fps
- DVCPProHD - 1920×1080i@ 29.97fps
- DVCPProHD-1920×1080i @ 25fps
- DVCPProHD - 1280×720p @ 59.94fps
- DVCPProHD - 1280x720p @ 50fps



Media Composer v2024.12 では、Avid Titler+ は HD 以下のサイズにおいてはフルサポートされていません。



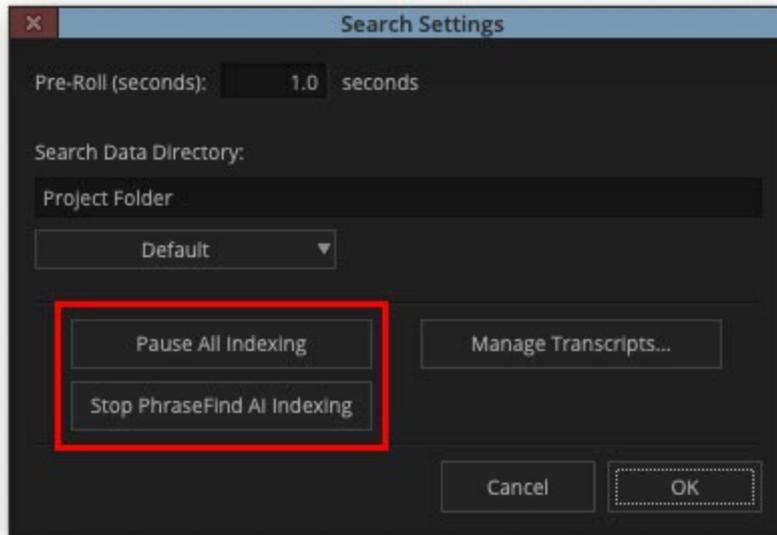
Avid Link は常に最新バージョンを使用するようにしてください。最新バージョンに更新するには、Avid Link にサインインし[更新]をクリックするか、MyAvid (<https://my.avid.com>) から最新バージョンをダウンロードしてください。



文字起こしツールは Media Composer | Enterprise と Media Composer | Ultimate、または、PhraseFind AI オプションを追加したサブスクリプションまたは永続ライセンスの Media Composer で使用できます。ScriptSync AI オプションには文字起こし機能は含まれていません。



PhraseFind AI はメディアをバックグラウンドでインデックスします。インデクシングには多くのリソースが必要であり、Media Composer の動作に影響を及ぼす場合があります。編集の動作が顕著に遅くなった場合は、検索ウィンドウからインデクシングを中断させることができます。検索ウィンドウの歯車アイコンをクリックして、[インデクシングを一時停止] または [PhraseFind AI インデクシングを停止] を選択してください。



Media Composer 2023.8 以降では、HDV メディアのインポート、エクスポート、作成はサポートされません。



Media Composer 2023.8 以降では、IEEE-1394 (Firewire) を使用した HDV 素材の取り込み (テープ素材) や出力 (デジタルカット) はサポートされません。



(mac のみ) : macOS Catalina では、32-bit アプリケーションはサポートされません。以前のタイトルツール、Marquee ツール、QuickTime レガシーコーデックはインストールされません。Catalina 以前のシステムに Media Composer をインストールする場合は、これらのツールについて、別のインストーラーが用意されていますので、これを使って別にインストールしてください。QuickTime が既にインストールされている場合は、レガシーコーデックのみをインストールします。インストーラーは "Media Composer Legacy Components 2020.4 Mac" です。MyAvid リンクまたはダウンロードセンターからダウンロードできます。



Media Composer v2022.7 以降で作成されたグループクリップまたはマルチグループクリップのサブクリップは、オリジナルのサブクリップを読み込みます。Media Composer v2022.7 以前のバージョンで作成されたグループクリップまたはマルチグループクリップのサブクリップは、グループクリップまたはマルチグループクリップを読み込みます。

- AMD カードを使用していて、Ctrl+Shift+M や Ctrl+Shift+G のようなモディファイアキーが必要なショートカットが動作しないときは、AMD の "Use Hotkeys" 設定を無効にしてください。
- Avid DNxIQ や Avid DNxIV のような I/O デバイスを接続しているときは、Media Composer v2022.10 を最初に起動するときに手動でデバイスを選択し、出力デバイスとして有効化する必要があります。タイムラインウィンドウの HW/SW ボタンを右クリックし、使用したいデバイスを選択してから HW/SW スイッチを On にして有効にします。次回 Media Composer を開いたときは、この設定が使用されます。

- (MCCET-4684) SCC ファイルをインポートしたとき、行が混ざったり重なったりした結果、テキストが一気に表示されることがあります。これを防ぐためには、SCC ファイルから Duplicate Control Code を削除してください。
- (MCCET-2541) Avid Artist DNxIO または Avid Artist DNxIQ を使用しているときは、Windows OS の「サウンド」コントロールパネルから、BlackMagic Audio のライン入力録音を無効にしてください。
- **認証されているオペレーティングシステム**：詳細については、[認証ハードウェアとオペレーティングシステム](#)をご参照ください。
- **ドングル (Mac のみ)**：Media Composer v2024.2 以降では、macOS でドングルはサポートされません。ドライバーは Avid_Uilities フォルダ (/Applications/Utilities/Avid_Uilities/Sentinel_Driver) にあります。ドングルをお持ちの場合は、この場所から手動でドライバーをインストールしてください。ドングルは、macOS M1 システムまたは Monterey 以降を実行している macOS システムではサポートされていません。



Sentinel ドライバーをインストールするときは、システム環境設定の「セキュリティとプライバシー」でドライバーのアクセスを許可していることを確認してください。

- \Program Files\Avid\Avid Media Composer\SupportingFiles\Utilities フォルダに **dnxmov2mxf** という実行ファイルがあります。これは、アルファが別に保存されている DNX 圧縮された MOV がファイルを、アルファをエンベッドした MXF OP1a に変換します。このツールは Windows、osX、Linux で使用できます。Windows で起動するには、Visual C++ Redistributable for Visual Studio 2015 または Visual C++ Redistributable for Visual Studio 2017 が必要です。Windows のコマンドプロンプトまたは macOS のターミナルから以下を実行してください。
dnxmov2mxf path_to_mov [path_to_mxf]
- (MCCET-5383) (Windows のみ) Media Composer v2023.8 で削除された [Re-encode for XDCAM bitstream compliance (XDCAM ビットストリームコンプライアンス用の再エンコード)] オプションを再実装することで、プレイアウトへの送信と XDCAM のパフォーマンスが向上しました。デフォルトではこのオプションが選択されています。このオプションが選択されていない場合は、スプリミングが使用され、非準拠のビットストリームになる可能性があります。プレイアウトへの送信を使用する場合、Transfer 設定の [XDCAM ビットストリームコンプライアンス用の再エンコード] オプションが Media Creation 設定と一致している必要があります。

SRT に関する注意

SRT に関する詳細は、Help メニューの "Open IO Support for SRT" をご参照ください。

出力

- SRT が本来的に圧縮ストリーミングである点と、受け側のアプリケーションの性能差等により、出力された映像は Media Composer 内のビューワーと同期が取れない場合があります。デコーダーの性能によっては、Media Composer 内のビューワーから数秒ズレる可能性があります。ネットワークの速さによっては、デコーダー側のバッファリング設定を変更する必要があるかもしれません。

SRT クオリティビットレート

- デフォルト設定は以下のとおりです：

Low Quality (Long GOP ベース圧縮) – 3Mbps (30fps 以下)、6Mbps (30fps 以上)

Medium Quality (Long GOP ベース圧縮) – 6Mbps (30fps 以下)、12Mbps (30fps 以上)

High Quality (Intra-frame ベース圧縮) – 40Mbps (1080p/29.97) フレームレートとラスターの設定によっては、これ以上の値を取ります。

- ビットレートは可変であり、送出されるメディアの内容によってはこれを超える可能性もあります。ビットレートはフレームレートとラスターサイズによって変化し、また送出される映像の内容によっても変わります。
- SRT では 8bit のみのサポートです。Media Composer のプロジェクトが 10bit だったときは、I/O は自動的に 8bit に変更されます。

プロジェクト/メディアサポート

- 2K/UHD/4K プロジェクトは、同じフレームレートの HD にダウンコンバートされます。例えば UHD 4k 23.976 で SRT を使用すると、HD 23.976p にダウンコンバートされます。
- インターレースフォーマットはネイティブサポートされません。同じフレームレートのプログレッシブとして送出されます。
- オーディオはステレオミックスされます。
- RGB はネイティブサポートされません。YUV に変換されます。



SRT プラグインは、v2024.6 以降のすべての Media Composer でサポートされます。

セキュリティガイドライン

Avid Media Composer ではエンドポイント検出と応答のソリューションをインストールできます。特定のソリューションをサポートするものではありませんが、CrowdStrike Falcon に関する一般的な情報とガイドラインについては、以下をご参照ください。

https://avid.secure.force.com/pkb/articles/en_US/troubleshooting/en239659



NEXIS Client 23.8.2 と 23.12 では CrowdStrike v7.0.4 以降が必要です。これ以前のバージョンの NEXIS Client では、v7.0.3 までをサポートします (Windows、macOS)。

Media Composer | First

Avid Media Composer | First は、機能を減らした Avid Media Composer の無料バージョンです。この文書で説明されているいくつかの内容は、Media Composer | First には適用されない場合があります。

Media Composer v2024.12 で修正された不具合

- **Bug Number:** MCCET-5619 (Windows) Apple ProRes RAW メディアがリンクできず、黒画面になったりエラーが出たりする。
- **Bug Number:** MCCET-4484 システムの CPU コアの数が多いとき、グラフィックファイルのインポートに想定より時間がかかる。
- **Bug Number:** MCCET-5372 SubCap と Titler+ で中国語フォント (HYZhuZiChaoRanTiW) が正しく表示されない。
- **Bug Number:** MCCET-5705 タイムラインのクリップゲインフェーダーアイコンをクリックすると、クリックするたびに値が変わる。
- **Bug Number:** MCCET-5638 オーディオプロジェクト設定を変更しても、オーディオミキサーのオーディオチャンネルラベル表示が正しくアップデートされない。

- **Bug Number: MCCET-5722** タイムラインで何らかの操作を行い、右クリックを使ってグループクリップ内のクリップを変更すると、Undoすると2つ前に戻ってしまう（本来なら、グループクリップ内の選択についてのUndoはできない）。
- **Bug Number: MCCET-5690** (MediaCentral | Production Management) 以前のバージョンと比べて便を開くときの動作が重い。
- **Bug Number: MCCET-5551** オーディオスイートウィンドウに [マスターコントロールクリップの表示/非表示] ボタンが表示されない。
- **Bug Number: MCCET-5716** ScriptSync でハイフン等の英数字ではない文字を使用すると、"AvNN Error:350, AvNNDatabase::Align error" 等のエラーが出る。
- **Bug Number: MCCET-4602** SubCap エフェクトが2つのトラックに配置され、一部のキャプションがミュートされると、マスターキャプションリストが順序どおりに機能しなくなる。
- **Bug Number: MCCET-4495** タイトルツールから Titler+ へのプロモーションが正しく実行できないことがある。
- **Bug Number: MCCET-4593** (macOS) Blackmagic Desktop Video 12.2 以上がインストールされているシステムで、Avid Artist | DNxIO への RS-422 デッキコントロールができない。
- **Bug Number: MCCET-5097** QuickTime がインストールされていないシステムで、特定の MP3 ファイルがインポートできない。
- **Bug Number: MCCET-5315** Global Properties ウィンドウから SubCap の Stylesheet を保存すると、テンプレートとしてアウトラインが保存されない。
- **Bug Number: MCCET-5608** Media Composer をインストールすると、空の "BF-76.aaxplugin" フォルダーが作成される。
- **Bug Number: MCCET-4452** ProRes で SD NTSC 素材をインポートすると 720 x 496i と表示される。
- **Bug Number: MCCET-5662** Master Edge ビンコラムで EDGE4 しか使用できない。
- **Bug Number: MCCET-5741** マーカーウィンドウが開いていて Frame コラムが追加されている状態でマーカーをオン・ザ・フライで追加すると、Media Composer がクラッシュする。
- **Bug Number: MCCET-5362** (Windows) 日本語システムで、オーディオマルチミックス設定の日本語テキストが正しく表示されない。
- **Bug Number: MCCET-5750** QuickTime がインストールされていないシステムで、特定の MP3 ファイルについてバッチインポートが実行できない。
- **Bug Number: MCCET-5489** 現在アクティブではないウィンドウについてのメニューがグレイアウトされない。
- **Bug Number: MCCET-5484** タイムラインのクリップゲインスライダーに、タイムラインで以前に調整されたクリップから引き継がれた誤った値が表示される。
- **Bug Number: MCCET-5777** ビンを印刷するとき、ページの境目にある項目が無視される。
- **Bug Number: MCCET-5150** (macOS) macOS Ventura (v13.0) で NEXIS ワークスペースをマウントしてもメディアが OFFLINE のままになる。

- **Bug Number:** MCCET-5632 Dynamic Relink が有効の状態で作成したワークグループトランスファーを実行しても、高解像度/PCM オーディオが転送されない。
- **Bug Number:** MCCET-5802 (MediaCentral | Production Management) v2026.6 で追加された新しいマーカー色を使ってマスタークリップにマーカーを追加すると、アセットマネージャーへのアップデート時にエラーが発生し、MediaCentral | Production Management にチェックインできない。
- **Bug Number:** MCCET-5776 Media Creation 設定が Site 設定に登録できない。
- **Bug Number:** MCCET-5202 (MediaCentral | Production Management) [Pro Tools 用にチェックイン] が動作せず、“この設定は読み取り専用です。変更することはできません”と表示される。

既知の問題

以下の問題は既知の問題です。

- QuickTime がインストールされていないシステムでは、Photoshop PSD ファイルの AMA リンクはサポートされていません。
- 特定のフォントでは、太字しか持っていないものがあります。Mac システムにおいては、フォントを選択しても何も変化が起きないことがあります。このときは、Bold を選択してみてください。
- ダイアログで有効にしているにも関わらず、プロジェクト起動時に “Enable 3rd Party Emulation” メッセージが出る場合は、[ファイル]メニュー>[設定]を選択し、[プロジェクト]タブをクリックします。次に [General] 設定を開き、“Avid NEXIS/ISIS をエミュレートするサードパーティーのストレージでピン共有を有効にする”を選択してください。
- **Bug Number:** MCDEV-20219 (macOS) タイムラインでの作業中に遅延が発生するなど、Media Composer の UI で断続的な問題が発生することがある。

回避方法：Mac のシステム設定で [デスクトップと Dock] を開き、[ディスプレイごとに個別の操作スペース] のオプションを有効にしてください。
- **Bug Number:** MCDEV-20237 MP2 オーディオをサンプリングレート 22050Hz または 44100Hz の AAC フォーマットでエクスポートするとエラーが出る。MP2 オーディオを含むトラックを M4A、MP4、MOV にエクスポートするときにも発生する場合があります。

回避方法：UME ファイルエクスポートメニューの AAC フォーマットから 22050Hz または 44100Hz 以外のサンプリングレートを選択してください。
- **Bug Number:** MCDEV-20191 リンクされた MXF OP1a Apple ProRes 4444 XQ クリップをエクスポートすると、不必要な Matte Key クリップになる。

回避方法：メディアをリンクするとき、[リンクオプション] で [アルファチャンネル] を [無視] に設定してください。
- **Bug Number:** MCDEV-20233 (Windows) Import 設定の [アルファエンコーディング] が [非圧縮] (デフォルト) になっていると、アルファチャンネルを含む QuickTime ファイルがインポートできない。

回避方法：[ランレングス圧縮(RLE)] に設定してください。
- **Bug Number:** MCDEV-20234 Import 設定の [アルファエンコーディング] が [非圧縮] (デフォルト) になっていると、アルファチャンネルを含む PNG ファイルがインポートできない。

回避方法：[ランレングス圧縮(RLE)] に設定してください。

- **Bug Number: MCDEV-20197** IMF ファイルが以前エクスポートした場所と違う場所に置かれていると、それを読み込んだときに "IMF Model:Component not found" エラーが出る。

回避方法：IMF ウィンドウから IMF ファイルを削除し、[検索] ボタンから最後にエクスポートされた IMF パッケージを選択してください。

- **Bug Number: MCDEV-19156** nablet ARRI プラグインでリンクされた ARRIRAW メディアで色がおかしくなる。nablet プラグイン (v3.4.0.5526、v3.4.1.5543) で ALEXA SXT または ALEXA 65 12-bit エンコーディングで撮影したメディアをリンクしたときに発生します。ARRI の他のモデルで 12-bit 撮影した場合 (ALEXA Mini) や 13-bit エンコードした場合 (ALEXA 35) には発生しません。

回避方法：nablet サポートに連絡を取り、OpenCL を使用する、以前のバージョンのプラグインを入手してください。

- **Bug Number: MCCET-5281** (Windows) [XDCAM ビットストリームコンプライアンス用の再エンコード] オプションが選択されていない状態で XDCAM 50 ミックスダウンを実行すると、ランダムに黒フレームが入る。

回避方法：XDCAM にビデオミックスダウンする時は、[XDCAM ビットストリームコンプライアンス用の再エンコード] オプションを選択してください。

- **Bug Number: MCDEV-18929** ソースブラウザーから PTXM ファイルをリンクすると、PMM_MISMATCHED_MEDIA エラーと PMM_INSUFFICIENT_MEDIA エラーが出る。これらのエラーは、マルチチャンネルオーディオ形式の特定のファイル命名規則の誤った解釈によって発生する可能性があります。

回避方法：[Link] 設定 > [リンクオプション] タブの [BWF モノフォニックグループの自動検知] を Off にしてください。この設定は、ソースブラウザーからファイルをリンクするときのみ必要です。インポートには影響ありません。

- **Bug Number: MCDEV-18752** SRT 設定でパスワードが設定されていると、Avid Huddle が Teams に接続できなくなる。

回避方法：設定されているパスワードを削除してください。

- **Bug Number: MCDEV-18451** QuickTime がインストールされていないシステムで、QuickTime ファイルのファストインポートが実行できない。

- **Bug Number: MCDEV-18368** QuickTime がインストールされていないシステムで、アルファチャンネルを持った QuickTime ファイルが常に RLE としてインポートされる。

- **Bug Number: MCDEV-18307** QuickTime がインストールされていないシステムで、4K、8K、16K プロジェクトにインポートされた Matte Key クリップのオリジナルビデオ設定が、タイムラインクリップテキストの解像度として正しく表示されない。

- **Bug Number: MCDEV-18384** QuickTime がインストールされていないシステムで、QuickTime MOV から OMF が生成できない。

- **Bug Number: MCDEV-18374** QuickTime がインストールされていないシステムで、Import 設定 ウィンドウでアルファチャンネルが [無視] に設定されている場合を除き、オーディオトラックとアルファチャンネルの両方を含む QuickTime が常にマットキーとしてインポートされる。

- **Bug Number: MCDEV-18367** QuickTime がインストールされていないシステムで、Import 設定の [DV 走査線数のクロップ/パッド調整] が正しく動作しない。

- **Bug Number: MCDEV-18411** QuickTime がインストールされていないシステムで、アルファチャンネルを持つクリップをインポートすると、Matte Key クリップのアルファレイヤーが正しくリサイズされない。

回避方法: クリップをインポートする前に Import 設定ウィンドウで [小さい画像はリサイズしない] が選択されていた場合は、ビン内のイメージを右クリックして [ソース設定] を選択します。[FrameFlex] タブで、[Reformat] ドロップダウンメニューから [中央でサイズを維持] を選択し、[Apply] をクリックします。これにより、Matte Key とその関連シーケンスに空間アダプターが追加されます。レンダリングが必要になります。

- **Bug Number: MCDEV-18107** (Windows) Media Composer のインストールが失敗し、1309 エラーを出す。インストーラーのパスが長すぎるときに発生します。例えばインストーラーがデスクトップ上から実行されているとき等に発生しやすいです。

回避方法: インストーラーをドライブのルートレベルから実行してください。

- **Bug Number: MCCET-4971** Media Composer 2022.12 以降で、コマンドパレットで [メニューからボタンに割付] を選択していても 新規 > シーケンス がキーボードに割り当てられず、「そのメニューアイテムは割付できません」というメッセージが表示される。これは新しいサブメニューによる機能拡張が原因であり、将来的に変更される可能性のある関数をマッピングすることはできません。

回避方法: Cmd+Shift+N (macOS) または Ctrl+Shift+N (Windows) で新規シーケンスを作成してください。

- **Bug Number: MCDEV-17243** Disk Cache が off または 0 だと、プロキシの再生ができなくなる。

回避方法: Avid NEXIS | EDGE を使用時は、Disk Cache を 1 以上に設定してください。

- **Bug Number: MCDEV-16685** SRT が無効のとき、ハードウェア設定がプロジェクト設定を正しく引き継げず、UHD と HD フォーマットの間でミスマッチが発生し、キャプチャーツールでエラーが出る。

回避方法: SRT が無効でキャプチャーツールが開いているときは、ビデオ出力を手動で設定してください。

- **Bug Number: MCDEV-15629** Matte Key クリップに対してプロキシを作成しても、アイコンの色が変わらない

回避方法: プロキシが作成されているかどうかは、Proxy Offline コラムを確認してください。

- **Bug Number: MCDEV-17081** ハイレゾファイルが存在しないのにメッセージが表示されず、プロキシメディアを使って出力される

- **Bug Number: MCDEV-15413** データトラックが壊れていると、リンククリップからプロキシが作成できないことがある。

- **Bug Number: MCDEV-16119** (Avid Artist DNxIQ) オーディオをキャプチャーしようとする時、“Audio/video is unexpectedly no longer coming into the system” エラーが出る。このエラーが出るのは最初の一回だけで、その後は問題なくキャプチャーできるようになります。

回避方法: 最初にビデオをキャプチャーし、その後ビデオをオフにしてキャプチャーしてください。

- **Bug Number: MCDEV-15843** (Windows 11) ファインダーからビンにドラッグ & ドロップできないことがある。

回避方法：インポートまたはリンク時には、ソースブラウザを使ってください。

- **Bug Number: MCDEV-14845** Media Composer が Software Only モードだと、Media Composer | Enterprise Admin ツールで NDI 機能を制限できない。
- **Bug Number: MCCET-3702** HD インターレースシークエンスに UHD プログレッシブクリップを追加したときの画質。

Media Composer では、プロジェクトの設定にクリップのフォーマットを合わせるとき、mix and match の処理を行います。まずモーションアダプターを適用し、次に解像度を z 法制します。

例えば、1080i タイムラインに UHD 50p クリップを追加するときは、まず UHD クリップを 2 つのフィールドに分割し、それぞれのフィールドを 1920x540 のサイズに変更します。最後にこれらのリサイズされたクリップを一つに合わせますが、このときオリジナルの鮮明さは失われてしまいます。

回避方法：UHD プログレッシブを HD プログレッシブにトランスコードしてから、これを HD インターレースシークエンスに追加すると、UHD から HD へのサイズ変更プロセスは 2 つに分割するプロセスの前に実行されます。

- **Bug Number: MCCET-3788** OP1a オーディオクリップを重畳した AAF をエクスポートしようとすると、“clip name is a clip in a multi-essence file that cannot be exported using the specified Embedded in AAF setting” エラーが出ることもある。

回避方法：エクスポート前に、OP1a ファイルを OP-Atom にコンソリデートしてください。

- **Bug Number: MCDEV-8641.** (AMD Graphics) AMD グラフィックカードを搭載したシステムでフルスクリーン再生すると、画面がティアリングする。

インストールの前に

Media Composer | Enterprise および Media Composer | Distributed Processing

Media Composer | Enterprise および Media Composer | Distributed Processing をお使いの場合、*Media Composer | Enterprise Administration Guide* and *Media Composer | Distributed Processing Administration Guide* の “Installation Prerequisites” をご参照の上、Avid MediaCentral Cloud UX Platform ISO および Avid MediaCentral Cloud UX Feature Pack ISO のサポートバージョンをご確認ください。

MediaCentral | Production Management 環境へのインストールの前に

アップグレードの前に“*Avid Editor Compatibility with Interplay Releases*”をご参照ください。編集システムのアップグレード時に、Interplay コンポーネントをアップグレードする必要がある場合があります。https://avidtech.my.salesforce-sites.com/pkb/KB_Render_FAQ?id=kA96e000008T8t&lang=ja

バッファエラーメッセージ

システムには最低 8GB の RAM が必要です。メモリが 8GB 以下のシステムにアプリケーションをインストールしようとすると、バッファエラーが表示され、インストールできません。

解凍時のエラーについて

解凍時に「ファイルパスが長すぎます」とか「ファイル名が長すぎます」というエラーが出た場合は、.zip ファイルを c: に置いて解凍してください。

“Raise Thread Priority”権利

(Windows) ドメイン管理者の方へ: システムがドメイン管理下にあるときは、ユーザーに“**Increase Scheduling Priority**”権限を与えてください。この操作は、ドメインコントローラーのドメイングループポリシーで、ユーザーまたはグループに対して明示的に与えられなければなりません。通常のユーザーではシステムを起動することができません。

ドメイン管理下にいる場合はドメイン管理者に相談の上、インストールと最初の起動はドメイン管理者に依頼するようにしてください。

管理者 (Administrator) としてインストール

最初のインストールと起動は管理者 (Administrator) として行う必要があります。共有ストレージ環境にいる場合は、ワークスペースを Administrator としてマウントしてください。その後、ログオフして通常のユーザーとしてログインし直してください。

インストールの後に AMA プラグイン

アプリケーションのバックグラウンドサービスが稼働中は AMA プラグインをインストールすることはできません。AMA プラグインをインストールする前に、バックグラウンドサービスを停止してください。バックグラウンドサービスの起動/停止は、メニューバー (Mac) またはタスクバー (Windows) から行えます。AMA プラグインをインストールしたら、バックグラウンドサービスを再起動してください。詳細は Help の“Starting and Stopping Avid Background Services”をご参照ください。

ソフトウェア・ライセンスについて OS をアップデートする時は

アプリケーションをインストールした後で OS をアップグレードする必要がある場合は、まずソフトウェアをディアクティベートしてください OS をアップグレードした後、必要であればアプリケーションを再インストールした後でソフトウェアを再アクティベートできます。ライセンスのアクティベート/ディアクティベートに関する詳細は *Installation Guide for Avid Editing Applications* をご参照ください。

RAM 最小要件

このリリースでは、最小 16GB RAM、32GB RAM が推奨です。特定の機能ではさらに RAM が必要な場合もあります、詳細は p.15 「機能別稼働要件」を参照ください。

認証ハードウェアとオペレーティングシステム

特定の機能は CPU に大きな負荷をかけるものや特定のハードウェアが必要なものがあります。詳細は p.15 「機能別稼働要件」をご参照ください。

以下の表は、Windows および Macintosh で認証されているハードウェアです。

3rd パーティ製 Open IO ハードウェアの認証情報については、各ベンダーから発行されている文書をご参照ください。Open IO については http://avid.force.com/pkb/articles/en_US/faq/en422991 をご参照ください。

以下は認証されているオペレーティングシステムです。お使いのハードウェアに応じ、以下のオ

ペレーティングシステムをサポートしています。

- Windows 10 64-bit 22H2 以降 (Professional、Enterprise)
- Windows 11 64-bit 22H2 以降 (Professional、Enterprise)
- macOS 13.x~13.7.x、14.x~14.7.x、15.3.1



Mac OS v10.13.x (High Sierra)において、Apple はカーネルエクステンション (KEXT) の手動での読み込みを必要とする仕様に変更しています。例えば Avid Nitris DX、Blackmagic、AJA 等の I/O デバイスはカーネルエクステンションのインストールが必要ですが、これらは自動ではインストールされず、結果として「KEXT が読み込まれていない」旨のメッセージを受け取ることになります。この場合、システム設定の「セキュリティとプライバシー」を開き、手動で KEXT を認証してください。I/O デバイスのドライバーをインストールするときは「セキュリティとプライバシー」ウインドウを開いたままにしておくと、ドライバーの動作に認証が必要なことがわかります。ここで 30 分以内に「Allow (許可)」ボタンをクリックしてください。これを行わないと、ドライバーは実行できなくなります。

認証ワークステーションおよびラップトップ

Windows および macOS の認証システムについては、[Avid Qualified System](#) の Windows または macOS の該当 PDF をご参照ください。

機能別稼働要件

機能の一部には、CPU に高い負荷をかけるものがあります。その結果、古いシステムでは性能が発揮できない場合があります。以下の表は、機能ごとに必要なハードウェア要件です。システムの認証状況については「[認証ワークステーションおよびラップトップ](#)」をご参照ください。

機能	要件	推奨システム
PhraseFind AI ScriptSync AI	24GB RAM 以上	認証システム
8K プロジェクト	128GB RAM 以上	64+ core Intel Xeon or AMD Threadripper CPU systems with Nvidia or AMD graphics
高解像度、高フレームレート XAVC-I メディアの編集 (UHD/4K 59.94p) Color Adapter 付き 4 ストリーム	64GB RAM 以上 96GB RAM 推奨	HP Z8 G5, Z6 G5 Lenovo P7, PX Dell 7960 <ul style="list-style-type: none">• Single or dual CPU with 56+ virtual cores (with HT)• Nvidia RTX A5000, A5500, A6000, 6000Ada• AMD W6800 HP Z8, Z6 Lenovo P920, P720, P620 Dell 7920, 7820 <ul style="list-style-type: none">• Dual gold 6154 or 6254 3.0 GHz 18-core (72 with HT)• AMD WX-7100, WX9100, Pro VII, W6800• Nvidia RTX 5000, 6000, A5000, A5500, A6000 HP Z6A Lenovo P620, P8 Dell 7865, 7875 or Boxx ApexxT4

機能	要件	推奨システム
		<ul style="list-style-type: none"> • AMD Threadripper CPU with 32 or 64 Cores • Nvidia RTX A5000, A5500, A6000, 5000Ada, 6000Ada • AMD W6800, W7900 Storage: 10-40 Gb Ethernet Avid NEXIS
1080p/50 XAVC Long ベース バンドキャプチャー	32GB RAM 以上	認証 PC Dual 6 Core 以上 認証 Mac Pro 6 Core 以上、 12 Core with Hyperthreading
高解像度、高フレームレートの編集 (UHD/4K 59.94p)	32GB RAM 以上 64GB RAM 推奨	HP Z8 G5, Z6 G5, Lenovo P7, PX Dell 7960 <ul style="list-style-type: none"> • Single or dual CPU with 56+ virtual cores (with HT) • Nvidia RTX A5000, A5500, A6000, 6000Ada • AMD W6800, W7900 HP Z8, Z6 Lenovo P920, P720, P620 Dell 7920, Dell 7820 <ul style="list-style-type: none"> • Dual gold 6154 or 6254 3.0 GHz 18-core (72 with HT) • AMD WX-7100, WX9100, Pro VII, W6800 • Nvidia RTX 5000, 6000, A5000, A5500, A6000 HP Z8, Z6 Lenovo P920, P720, P620 Dell 7920, Dell 7820 <ul style="list-style-type: none"> • AMD Threadripper CPU with 32 or 64 Cores • Nvidia RTX A5000, A5500, A6000, 5000Ada, 6000Ada • AMD W6800, W7900 Storage: 10-40 Gb Ethernet Avid NEXIS
高解像度 (2K 以上) メディアの編集	32GB RAM 以上	認証 PC Dual 6 Core 以上 認証 Mac Pro 6 Core 以上、 12 Core with Hyperthreading
DMF、バックグラウンドトランスコード、バックグラウンドレンダリング	32GB RAM 以上推奨	認証 PC Dual 6 Core 以上 認証 Mac Pro 6 Core 以上、 12 Core with Hyperthreading
Media Composer Cloud	システムモデルにより 326GB RAM 以上	i7 Quad Core 以上、 Hyperthreading
J2K キャプチャー	16GB RAM 以上	認証 PC Dual 6 Core 以上 認証 Mac Pro 6 Core 以上、 12 Core with Hyperthreading
ストリーム数の多いシーク エンスでの XDCAM Long GOP 9 面マルチカメラ	32GB RAM 以上	認証 PC Dual 6 Core 以上 認証 Mac Pro 6 Core 以上、 12 Core with Hyperthreading Storage : 2 x 1Gb Ethernet 以上の

機能	要件	推奨システム
		NEXIS
ステレオ 3D	ステレオ 3D 編集には、パフォーマンスの高いマシンをお使いください。ステレオ 3D では 12GB RAM 以上を推奨します。	認証 PC Dual 6 Core 以上 認証 Mac Pro 6 Core 以上、 12 Core with Hyperthreading
XDCAM HD50 キャプチャー	Open I/O を使用したキャプチャー	認証システム
HD RGB 444 Apple ProRes 4444 DNxHD 444	HD RGB キャプチャーには Open I/O デバイスと高性能マシン、高速なストレージが必要です。	Dual 6 Core 以上の認証 PC Mac Pro 6 Core 以上の Mac、 12 Core Hyperthreading Storage: 10Gb Ethernet Avid NEXIS
AMA (QuickTime)	AMA は CPU に高い負荷をかけます。性能が低いマシンだとパフォーマンスが発揮できない場合があります。特に H.264 ではリアルタイムパフォーマンスが落ちる可能性があります。	使用用途に応じて認証システムから選択してください。圧縮率が高いメディアを大量に使う場合は高性能のマシン (Dual 6 Core または Dual 8 Core) をお使いください。
AMA (RED)	AMA は CPU に高い負荷をかけます。より高いパフォーマンスが必要なときは、高性能のマシンをお使いください。	認証 Xeon システム RED プラグインはグラフィックプロセッサを使用します。高パフォーマンスのグラフィックカードでは、より高いパフォーマンスが期待できます。
AVC-Intra キャプチャー	ソフトウェアコーデックでの AVC-Intra キャプチャーはサポートされています。	24 Core 以上の Windows システム
AVC-Intra	AVC-I は高画質低ビットレートの HD コーデックであり、CPU に高い負荷をかけます	4 面マルチカム再生 Dual Quad Core、Dual 6 Core、 Dual 8 Core 4 ストリーム再生 Dual Quad Core、Dual 6 Core、 Dual 8 Core

Avid Artist I/O デバイス互換表

各 Avid Artist I/O デバイスをサポートする Media Composer バージョンです。

使用の際は、[Avid Master Account](#) より、適切なドライバーをダウンロードしてください。

デバイス	サポートする Media Composer バージョン
Avid Artist DNxIO	Media Composer v8.4.1 以降
Avid Artist DNxIQ	Media Composer v8.8.3 以降

デバイス	サポートする Media Composer バージョン
Avid Artist DNxIV	Media Composer v8.10 以降
Avid Artist DNxIP	Media Composer v2018.8
Avid Artist DNxID	Media Composer v2018.9

システムバージョン互換表

Media Composer で認証されている NVIDIA® ドライバー、QuickTime®、Windows Media™、共有ストレージ、Sony® XDCAM™、Panasonic® P2、Avid Artist シリーズの各バージョンです。Web サイトの”[互換バージョン対応表](#)”も併せてご参照ください。

重要：3rd パーティ製品 (Sorenson、Boris 等) については、各社 Web サイトをご参照ください。

製品名	バージョン	コメント
QuickTime	v7.7.9 (Windows) v10.x (v7.x Legacy) (macOS)	注意 ：QuickTime v10.x には QuickTime Pro オプションは含まれていません。 注意 ：Windows 10 では QuickTime はサポートされていません。 https://avidtech.my.salesforce-sites.com/pkb/KB_Render_FAQ?id=kA96e0000008Tx1&lang=ja
Avid Interplay	互換性については Knowledge Base をご参照ください。	重要 ：編集システムにインストールする Interplay コンポーネントは、編集アプリケーションがリリースされた時期のバージョンをお使いください。これには、Media Indexer、Interplay Access、Interplay Framework、Interplay Transfer Client、ProEncode Client が含まれます。Interplay Server Component のバージョンは以前のもまでも構いません。詳細は Knowledge Base の“Avid Editing Application Compatibility with Interplay Releases”をご参照ください。
NVIDIA ドライバー	v553.24 (Kepler 以降のすべての nVidia GPU) v474.82 (Kepler シリーズ GPU)	詳細は p.19 「 NVIDIA カードのセットアップ 」をご参照ください。 ステレオ 3D 用のドライバー設定方法については、Stereoscopic 3D Workflow Guide の NVIDIA Setup Info をご参照ください。 このバージョンは、仮想マシン (VM) 用の NVIDIA vGPU ソフトウェア 17 をサポートしています。詳細は nvidia.com をご参照ください。
AMD ドライバー	24.Q4	注意 ：22.Q3 にはアップデートしないでください。Media Composer が動作

製品名	バージョン	コメント
		しなくなります。22.Q2にも問題があることがわかっています。 注意： Radeon Pro GPU には Adrenaline Edition ドライバーをインストールしないでください。 詳細は amd.com をご参照ください。
共有ストレージ	Avid NEXIS、Avid ISIS	詳細は p.20 「 共有ストレージサポート 」をご参照ください。
Sony XDCAM	v2.13 (XDCAM Transfer for Macintosh) Windows FAM v2.3.2、 VFAM v5.0.2	PDW-U1 の VFAM ファームウェアバージョンは 2.600 です。 PDW-U2 では 2.810 です。 ドライバーは Sony ウェブサイトからダウンロードしてください。
Panasonic P2	v3.1.7 (Macintosh) v2.24 (Windows)	現時点では Macintosh では P2 への書き戻しはサポートされていません。
Avid Artist シリーズ (Euphonnix)	EuControl ソフトウェア v3.4	Artist シリーズ User's Guide をご参照ください。

オーディオデバイスとの互換について

オーディオハードウェアおよびソフトウェアの互換については、以下の表をご参照ください：

ハードウェア/ソフトウェア	参照先
コントロール・サーフェス	Supported Control Surfaces
Avid Artist I/O	Supported Avid Artist I/O Devices
Media Composer と Pro Tools との共存	Co-install information for Media Composer and Pro Tools

NVIDIA カードのセットアップ

NVIDIA カードをセットアップする前に、正しいドライバーバージョンをインストールしていることを確認してください。必要であれば正しいドライバーをインストールしてください。サポートしているドライバーバージョンについては、p.18 「[システムバージョン互換表](#)」をご参照ください。

ドライバーは [nvidia.com](https://www.nvidia.com) からダウンロードしてください。

NVIDIA ドライバーバージョンを確認するには：

1. デスクトップを右クリックし、NVIDIA コントロールパネルを選択します。Windows コントロールパネルから NVIDIA コントロールパネルを開くこともできます。
2. 左下隅の「システム情報」をクリックします。
「グラフィックカード情報」にバージョンナンバーが表示されます。

NVIDIA ディスプレイドライバーをインストールするには:

1. 必要なドライバーを [nvidia.com](https://www.nvidia.com) からダウンロードします。
2. ドライバーインストーラーをダブルクリックします。
3. 画面の指示にしたがってインストールした後、システムを再起動します、

マルチディスプレイをセットアップするには:

1. デスクトップを右クリックし、NVIDIA コントロールパネルを開きます。
2. 左側のペインから「複数のディスプレイの設定」をクリックします。
3. リストから必要なディスプレイを選択します。

Avid 環境用にドライバーをセットアップするには

1. デスクトップを右クリックし、NVIDIA コントロールパネルを開きます。
2. 「3D 設定の管理」をクリックします。
3. 「グローバル設定」タブをクリックします。
4. 「グローバルプリセット」プルダウンメニューから「ベースプロファイル」を選択します。
5. 「設定」ペインをスクロールし、「電源管理モード」から「パフォーマンス最大化を優先」を選択します。
6. 「適用」をクリックします。

NVIDIA ソフトウェアをインストールした後は、インストーラーの指示がない場合でも必ずシステムを再起動してください。

Windows のドライバーロールバック機能（「ドライバーを元に戻す」機能）は NVIDIA ドライバーには使用しないでください。ドライバーのバージョンは、NVIDIA ドライバーインストーラーがインストールしたその他のコンポーネントと一緒になければなりません。

共有ストレージサポート

共有ストレージサポートについては、以下の文書の Avid NEXIS および Avid ISIS の表をご参照ください。

http://resources.avid.com/SupportFiles/Attachments/Interplay_MediaCentral_Support_Matrix.pdf

Legal Notices

Product specifications are subject to change without notice and do not represent a commitment on the part of Avid Technology, Inc.

This product is subject to the terms and conditions of a software license agreement provided with the software. The product may only be used in accordance with the license agreement.

This product may be protected by one or more U.S. and non-U.S. patents. Details are available at <https://www.avid.com/legal/patent-marking>.

No part of this document may be reproduced or transmitted in any form or by any means, electronic or mechanical, including photocopying and recording, for any purpose without the express written permission of Avid Technology, Inc.

Copyright © 2025 Avid Technology, Inc. and its licensors. All rights

reserved. Portions © Copyright 2003-2007 of MOG Solutions.

Attn. Government User(s). Restricted Rights Legend

U.S. GOVERNMENT RESTRICTED RIGHTS. This Software and its documentation are “commercial computer software” or “commercial computer software documentation.” In the event that such Software or documentation is acquired by or on behalf of a unit or agency of the U.S. Government, all rights with respect to this Software and documentation are subject to the terms of the License Agreement, pursuant to FAR §12.212(a) and/or DFARS §227.7202-1(a), as applicable.

Trademarks

Avid, the Avid Logo, Avid Everywhere, Avid DNXHD, Avid DNXHR, Avid Nexis, AirSpeed, Eleven, EUCON, Interplay, iNEWS, ISIS, Mbox, MediaCentral, Media Composer, NewsCutter, Pro Tools, ProSet and RealSet, Maestro, PlayMaker, Sibelius, Symphony, and all related product names and logos, are registered or unregistered trademarks of Avid Technology, Inc. in the United States and/or other countries. The Interplay name is used with the permission of the Interplay Entertainment Corp. which bears no responsibility for Avid products. All other trademarks are the property of their respective owners. For a full list of Avid trademarks, see: <https://www.avid.com/legal/trademarks-and-other-notices>.

Adobe and Photoshop are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries. Apple and Macintosh are trademarks of Apple Computer, Inc., registered in the U.S. and other countries. Windows is either a registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries. All other trademarks contained herein are the property of their respective owners.

Avid Media Composer ReadMe • Created 2/25/2025